

ナルクわかばの会、倉敷・岡山の旅

10月31日のバス旅行は、前日とは違って代わり、晴天に恵まれての出発となりました。総勢40名、ナルク箕面からも多数参加していただき、久しぶりの再会でバスの中は弾んだ声が響きました。

心配した渋滞もなく倉敷美観地区に到着。白壁と柳、倉敷川の川下り、迎賓館として建てられた有隣荘の陶器の屋根の緑の輝き、現在も住まわれている大原家の倉敷格子と倉敷窓、そして大原美術館。この街



をボランティアガイドをお願いして、なまこ壁の路地を抜けて職人が暮らした町並みへと散策しました。所々に明治の面影を残す建物があり、本当に美しい街と再認識しました。

二時間近く楽しい時を過ごした後、バスで移動しホテルでの昼食。品数豊富なバイキング料理に満足して、次の予定地である岡山城と後樂園に向いました。岡山城は秋期特別拝観中で、この地を治めた宇喜多家三代が在地勢力から豊臣家の五大老となったものの、関が原の戦いで滅んでしまった栄枯盛衰を見て、歴史とは、とつくづく考えさせられました。

その後日本三大庭園と言われる後樂園を散策、静けさの中でよい時間を過ごすことが出来ました。きびだんごのお土産も手配し、今回の旅行を企画して下さいった河原さん、大井さんありがとうございました。また多数参加して下さいった箕面拠点の皆様、これからもよろしくお願いいたします。

(吉田光代)

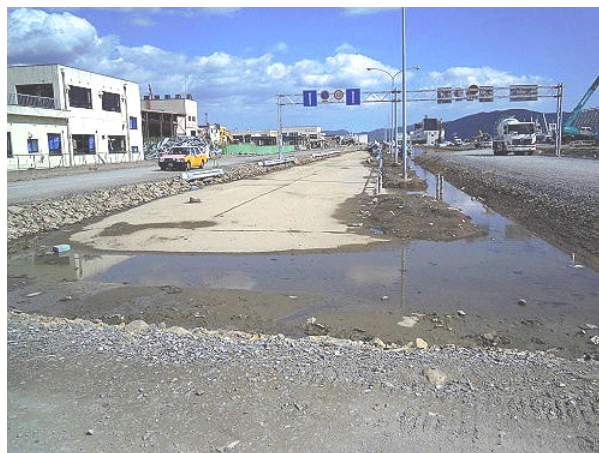
東北大震災の現場を見て

東日本大震災から7か月、10月に東北に足を踏み入れましたが、いまだ復旧工事に取りかかれていない現状に何とも言えぬ悔しさと空しさを感じずにはられませんでした。

仙台、岩手の都市周辺では町や人の動きを見ていると何もなかったかのように思えますが、太平洋側の沿岸は、それは悲惨です。大型のガレキ他、もろもろの物は片付いてはいるのですが、道路、町並みの跡地が変形し、地盤沈下した所には泥水…。道路は？ 人の動きはまばら…。寂しいですね。活気のあったあの浜が、港が…。草は生えても木々が緑を戻すのだろうか。明るい未来を願わずにはられませんでした。

太平洋に向って改めて手を合わせました。命を絶たれた人には合掌。今生ある人たちには明日への幸あれ…と祈りました。皆様から戴いたタオルは石巻社協へ届けてきました。

(高山典子)



NALC 事務所で使用している PC をお譲りします

事務所の古い PC1台 (IBM デスクトップ、OS は Windows Me) を廃棄処分します。PC の勉強用などで使いたい方がおられましたらお譲りします。EXCEL、WORD は稼働します。ご希望の方は 11 月中に事務所へお申込み下さい。申込みが複数の場合は抽選とします。

(事務局)